

[年賀状の準備、Windows 10 の操作方法]

2015年11月28日 河出 修

[年賀状の準備]

1. 「筆まめ」について

年賀状や暑中見舞い等は、パソコンで作成・印刷するのが当たり前の時代になってきました。Wordでも作成できますが、手数が掛かりますので、多種類の専用ソフトが販売されています。今回は「筆まめ」(Ver.25)を取り上げて年賀状作成の基本的なことを説明します。

2. 「筆まめ Ver.25」の起動

- 「筆まめVer. 25」のショートカットをダブル・クリックする。
- 「モード選択」画面が表示される。→「筆まめVer. 25を使う」をクリックする。
- 「オープニングメニュー▼」画面が表示される。→「宛名面を作る」をクリックする。



3. 差出人の登録

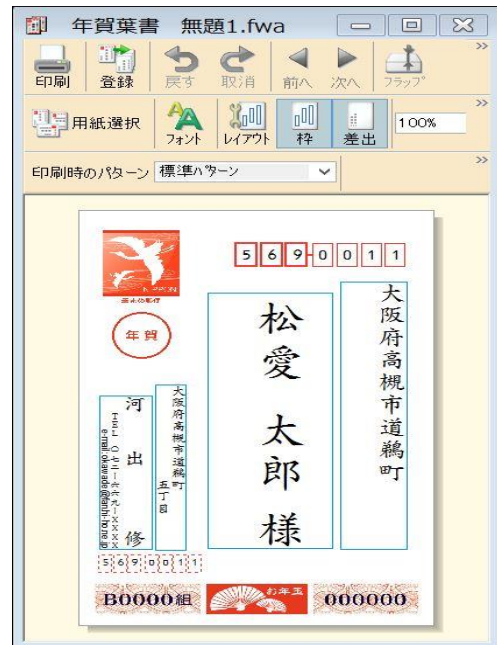
- 「宛名面を作る」タブ → 「差出人を作成・編集する」ボタンを押す。
- 差出人の住所、氏名、電話番号、E-mail等を登録する。
- 差出人は5種類登録でき、その中から選択できる。(個人、夫婦連名等)

4. 宛名の登録

- 「宛名面を作る」タブ → 「新しい住所録を作る」か「保存した住所録を開く」ボタンを押す。
- 「氏名(N)」欄に氏名を入力し、「敬称(K)」を選ぶ。(フリガナは自動付与される。)
- 「〒(Z)」欄に郵便番号を入力し、「〒⇄住所」ボタンを押せば、「住所1(1)」に自動変換される。「住所1(1)」の後部、または「住所2(2)」に続きの住所を入力する。

●宛名入力画面

●宛名印刷イメージ



5. 「デザイン面を作る」を開く。

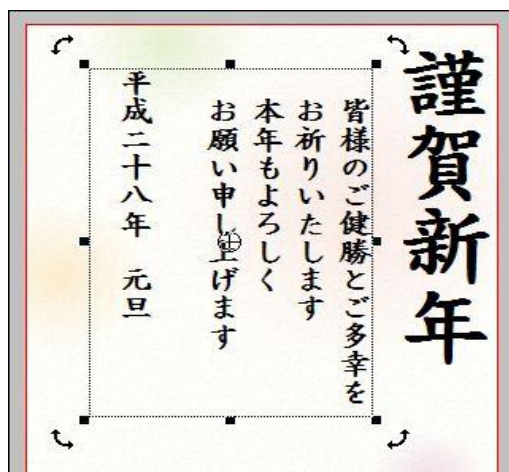
●「オープニングメニュー▼」画面が表示される。 → 「デザイン面を作る」をクリックする。



6. 背景の設定

●「デザイン面を作る」タブ → 「収録サンプルから開く」ボタンを押す
 → 「筆まめカテゴリ」タブを押す → 「その他素材」を開く → 「はがきサイズイラスト」を開く
 → 「背景(縦)」を開くと「背景画」が表示される。 → ●好みの背景を選択する。

7. 文面ファイルへの文字入力



●「文字・文章の入力」欄の中の「文章」を選び、入力範囲を設定する。

●フォントや文字サイズ等を設定する。

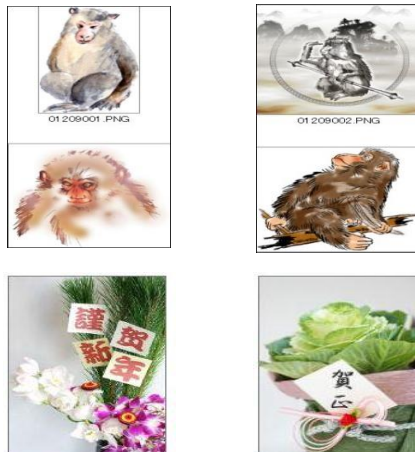
●設定した入力範囲に文章を入力する。

●「定型文章」を利用することもできる。

8. 文面データへのイラスト、写真入力



- 「画像の貼り付け」欄の中の「イラスト・素材ボックス」を選ぶ。
- 入力するイラストまたは写真を選択し、ダブルクリックで取り込む。(左上に取り込まれる)
- イラスト、写真の位置を調整すれば完了です。
- イラスト、写真の例



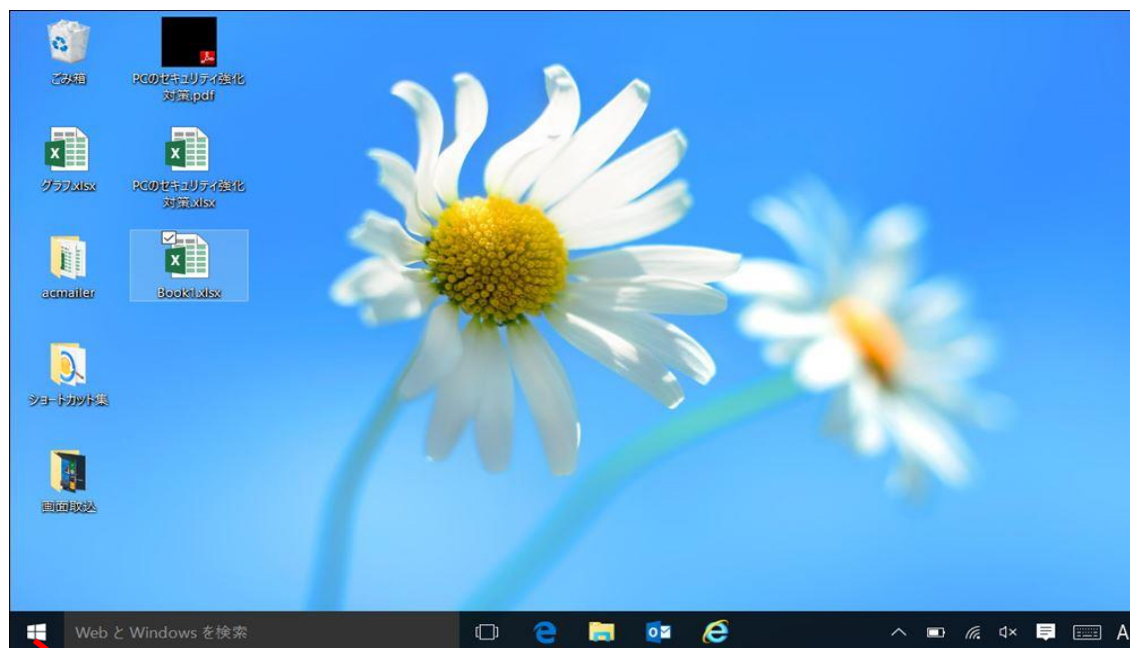
- 内蔵イラストや写真で満足できない場合は、インターネットのダウンロードサイトを利用可能。(ただし、ダウンロードサイトには「有料」の場合があるので注意が必要)
- 無料のダウンロードサイトの例 (Canon Creative Park)
<http://cp.c-ij.com/jp/categories/CAT-ST01-0174/top.html>

9. 文面ファイルの保存

- 「保存」ボタンを押すと、上書き保存される。
- 「ファイル」 → 「名前を付けて保存」 → 「保存場所」と「ファイル名」を指定する。

[Windows 10 の操作方法]

1. スタート画面



- 「電源」オン → 「パスワード入力」 → 「デスクトップ画面」が表示される。
- 「デスクトップ画面」は、「Windows 8/8.1」と非常に良く似ている。

2. 「スタートメニュー」の表示

- 「タスクバー」の左端にある「スタートボタン」をクリックすると、下図左側のメニューが表示される。「Windows 7」と「Windows 8」を組み合わせたような構成になっている。
- 「すべてのアプリ」ボタンをクリックすると、下図右側のようにABC順に「アプリ」が表示される。



3. 「アプリ」の起動方法

- (1). 「タスクバー」に登録された「ショートカット」をクリックする。
- (2). 「デスクトップ」に登録された「ショートカット」をクリックする。
- (3). 「スタートメニュー」に登録された「文字表示のショートカット」をクリックする。
- (4). 「スタートメニュー」に登録された「タイル表示のショートカット」をクリックする。

4. 「Windows 10」の標準ブラウザ

- 「Microsoft Edge」が標準になっている。
- 画面に図や文字を書き込めるようになった等、機能拡張がされている。ただし、互換性の問題が残っているので、画面が従来どおり動かない場合がある。
- 「Internet Explorer 11」が使えるるので、こちらをお勧めします。

5. 「Windows 10」へアップグレードする場合知っておくべき点。

- (1). 「USBフロッピー」を使用している場合は、最新の「ドライバーソフト」に更新が必要。
- (2). 「Windows Media Center」が削除された。この機能を使った、テレビの視聴や録画ができなくなる。
- (3). 「Windows 7」ユーザーの方は「DVDを入れたら勝手に再生してくれる」という場合が多い。「Windows 10」にアップグレードすると、DVD再生ソフトを自分で用意する必要がある。
- (4). 古い周辺機器を使用している場合は、「ドライバーソフト」の更新が必要になる場合がある。

6. 「Windows 10」を使用した感想。

- 今回は「Windows 8.1」からアップグレードしたが、トラブルはなかった。(PC2台)
- アップグレード後約4か月経過したが、動かずに困ったという経験はなし。
- 「ソリティア」等のゲームは、従来のものと少し変更されている。
- 操作性が良くなり、動作もスムーズで問題ないと思う。
- ただし、新しい機能を、もう少し習得する必要があると思う。

[Windows 10 へのアップグレード時の注意]

- ◆「互換性チェック」でエラーが表示される。メーカー情報で、アップグレード不適合となっている場合は「Windows 10 へのアップグレード」を行わないこと。
- ◆「Windows Vista」→「Windows 7」→「Windows 8/8.1」にアップグレード後、更に「Windows 10」にアップグレードすると、最終段階の再起動後にエラーとなり、元の「Windows XX」に戻る場合がある。